

## 本町における地域公共交通の現況について

■ 令和4年10月末時点

## 1 概要

## (1) 名鉄バス

## ① 西春・空港線（西春駅⇔名古屋空港）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	36往復 ※4便*	30分間隔 (昼間時)	100円～350円
土・休日		31.5往復		

※朝2便、夕方2便の西春～名古屋空港間のノンストップ便

## ② 県営名古屋空港線（名鉄バスセンター⇔栄⇔名古屋空港・あいち航空ミュージアム）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
	午前6時台～午後5時台	名駅発5便 空港発4便	1便／2～4時間	600円～700円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年8月26日から全便運休中

## (2) あおい交通

## ① 名古屋空港直行バス（名古屋駅前⇔県営名古屋空港）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後9時台	45便※ <sup>1</sup>	2～4便／時間	100円～700円
土・休日		27便※ <sup>2</sup>	1～3便／時間	
		5便※ <sup>3</sup>	1便／時間	

本数※1：名古屋駅→あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北） 12便減便

名古屋駅→勝川駅行は令和4年9月26日より当面の間、全便運休中

※2：名古屋空港→名古屋駅 11便減便

※3：あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北）→名古屋駅 2便増便

愛知県庁止まり便の廃止

## ② 名古屋空港直行バス（栄⇔愛知県庁前⇔あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北））

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前8時台～午後4時台	3往復	1～4時間に	600円～700円
土・休日			1便程度 (昼間時)	

本数※令和4年9月26日より当面の間、全便運休中

③ 幸田・勝川線（豊山幸田⇄勝川駅前）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後9時台	1 1 便 <sup>※1</sup>	1～3 便／時間	100 円～300 円
土・休日		1 2 便 <sup>※2</sup>		

本数※1：豊山幸田・名古屋空港→勝川駅、うち土・休日は3便減

※2：勝川駅→豊山幸田・名古屋空港、うち土・休日は4便減

(3) とよやまタウンバス

① 北ルート（小牧市役所前⇄北部市場東）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前7時台～午後8時台	8 便	1 便／時間	100 円～300 円
土・休日	午前9時台～午後4時台	4 便	1 便／時間	

② 南ルート（航空館boon⇄名古屋栄）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	1 4 往復	1 便／時間	100 円～500 円
土・休日	午前9時台～午後6時台	8 往復	1 便／時間	

(4) 名古屋市営バス

① 黒川11号系統（黒川⇄北部市場）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後8時台	1 4 便 <sup>※1</sup>	1～2 時間に 1 便程度 (昼間時)	均一制 210 円
		1 1 便 <sup>※2</sup>		
土曜日	午前6時台～午後7時台	1 0 便		
休日	午前7時台～午後7時台	9 便		

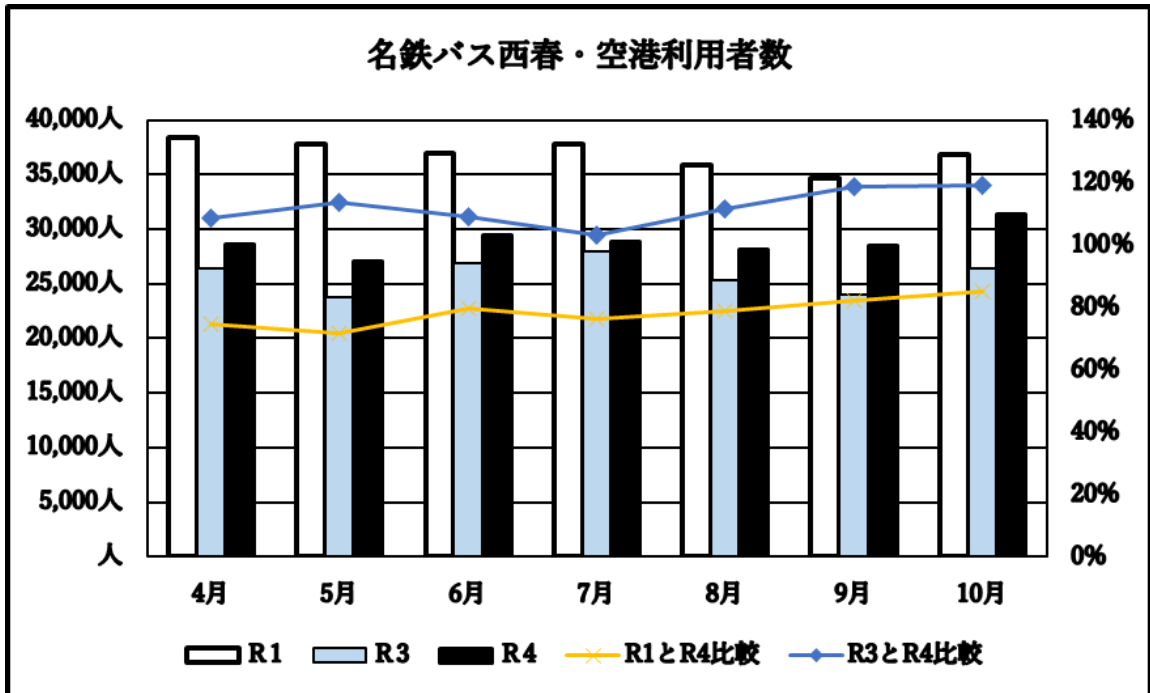
本数※1：黒川→北部市場、※2：北部市場→黒川

## 2 利用者数

### (1) 名鉄バス

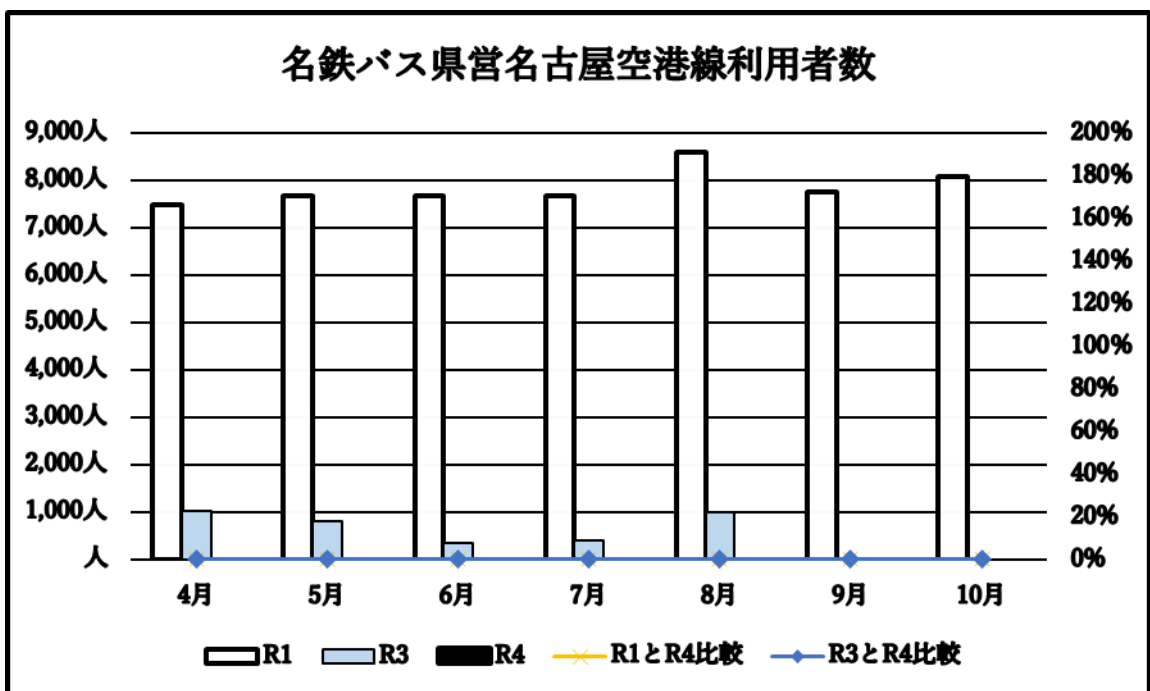
#### ① 西春・空港線

いずれの月も前年度と比べて1割ほど利用者が増加している。10月の利用者が最も多く、約31,000人であった。コロナ禍以前の令和元年度と比較すると、利用者は7～8割前後である。



#### ② 県営名古屋空港線

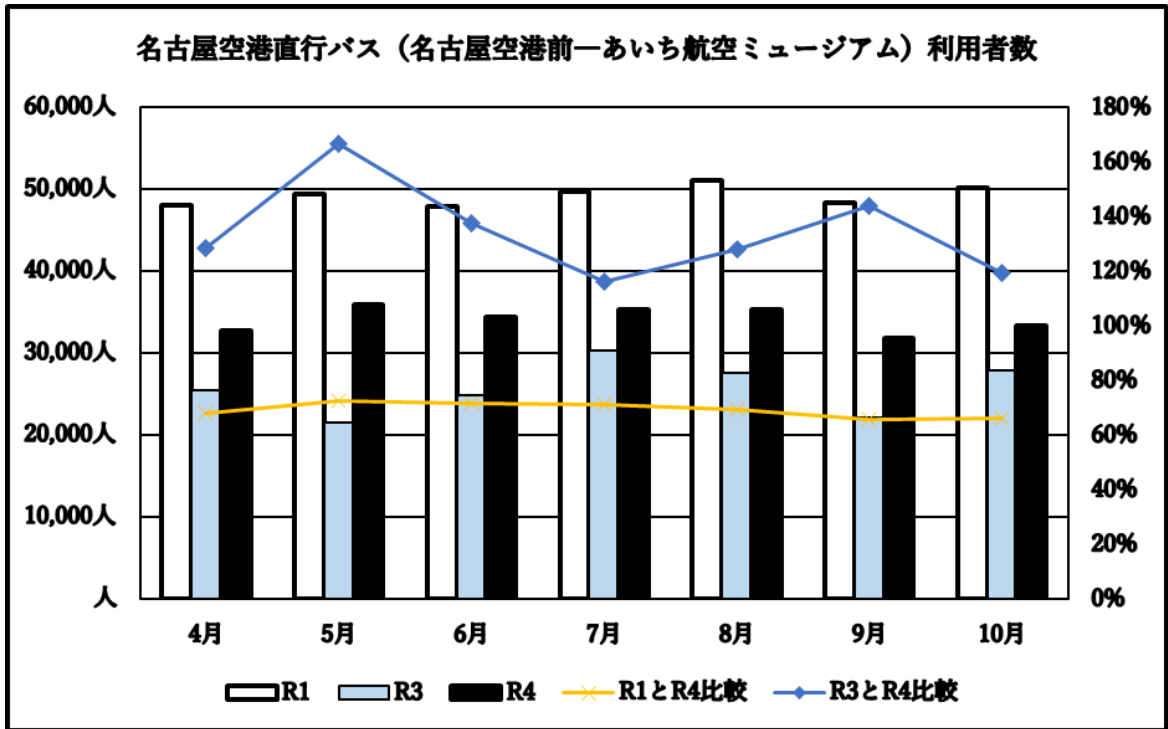
令和3年8月26日から運休中である。



(2) あおい交通

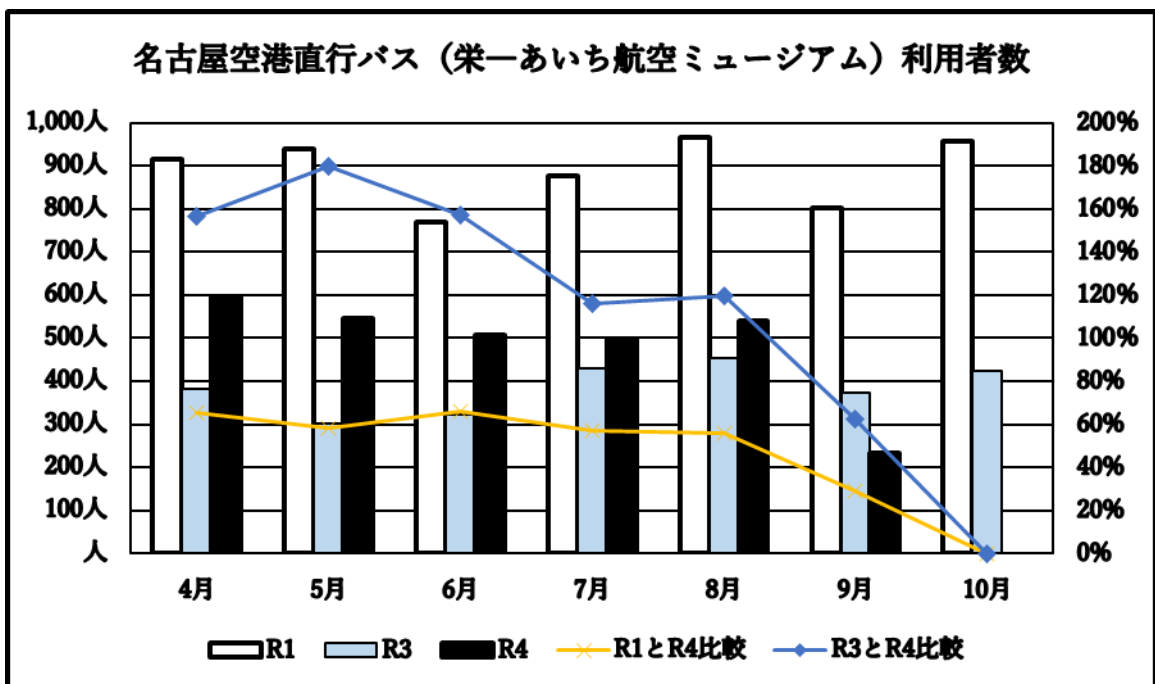
① 名古屋空港直行バス（名古屋駅ーあいち航空ミュージアム間）

いずれの月も前年度と比べて利用者が増加している。5月の利用者が最も多く、約56,000人であった。コロナ禍以前の令和元年度と比較すると、利用者は7割前後である。



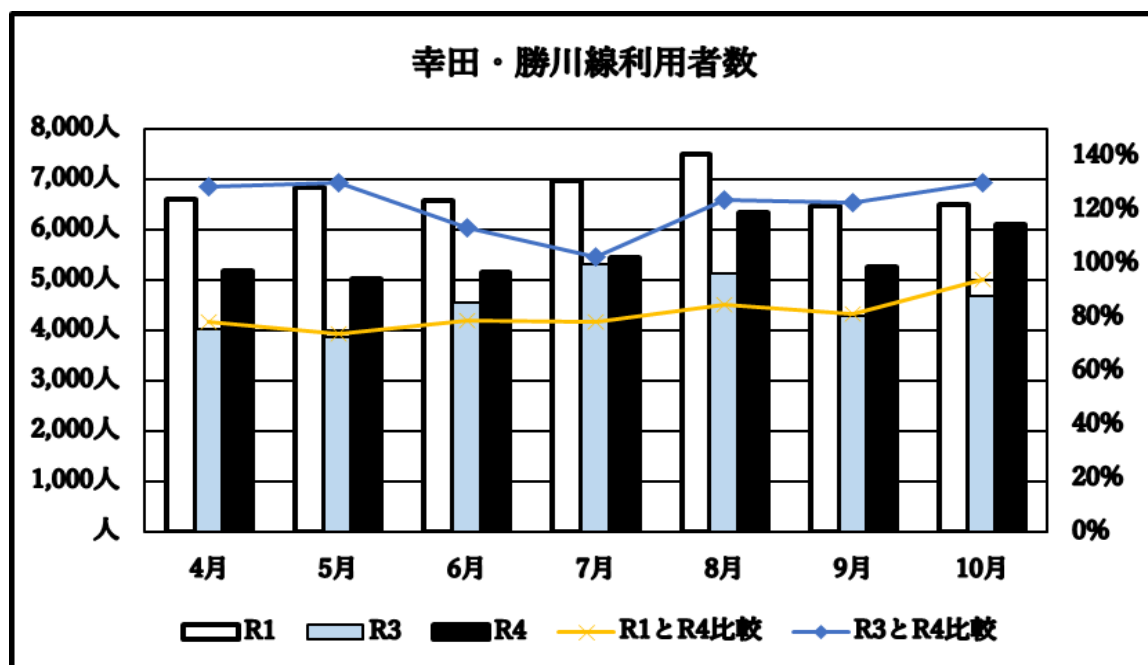
② 名古屋空港直行バス（栄ーあいち航空ミュージアム間）

4～8月は前年度と比べると利用者数は増加していたが、令和4年9月26日から当面の間、運休となった。



③ 幸田・勝川線

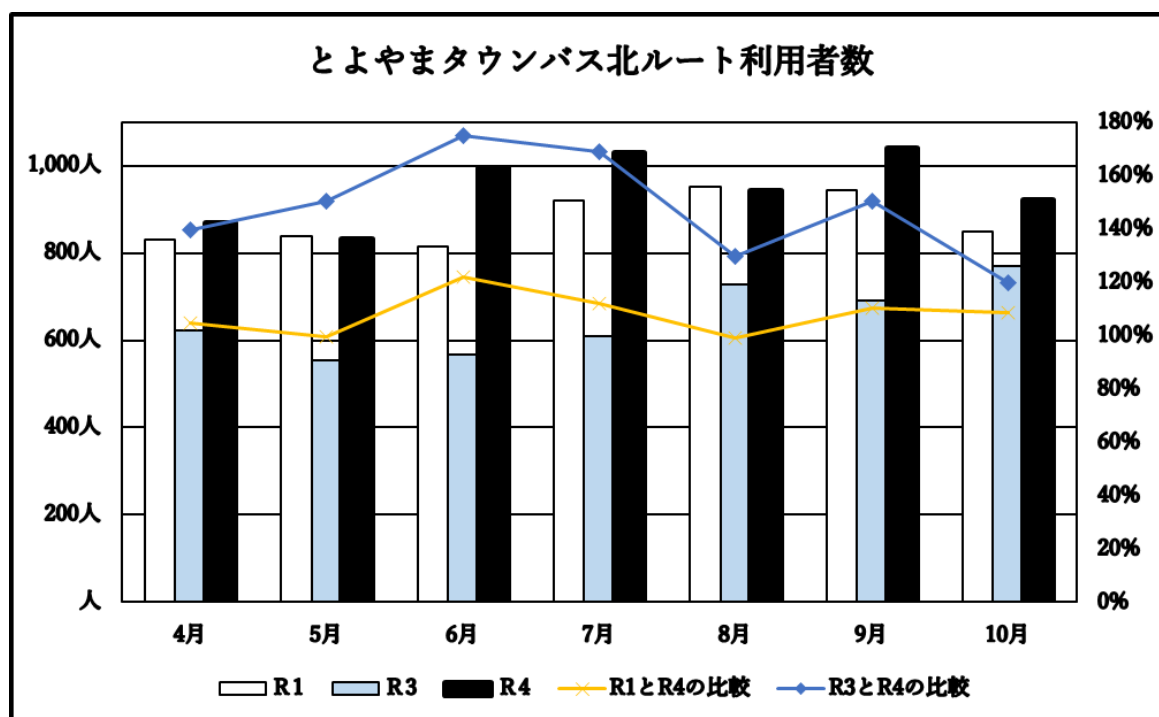
いずれの月も前年と比べて利用者数は増加している。8月の利用者数が最も多く、約6,300人であった。コロナ禍前の令和元年度との比較では、利用者数は8割程度である。



(3) とよやまタウンバス

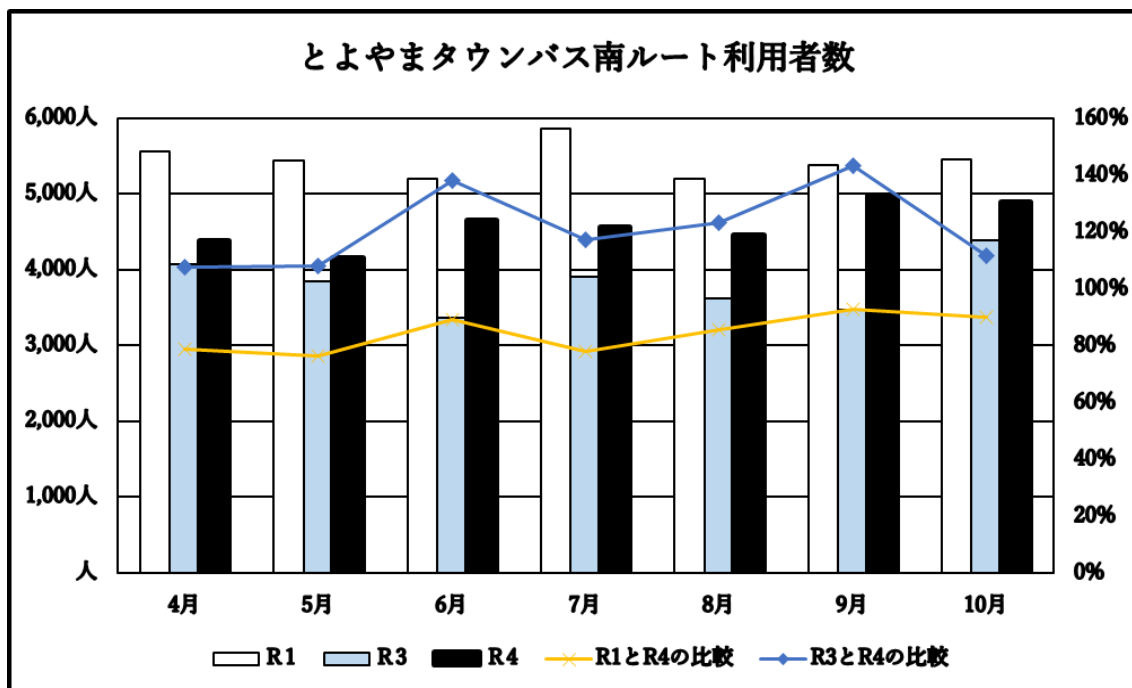
① 北ルート

月々の利用者数は800～1,000人台で推移しており、5・8月を除き、令和元年度よりも利用者が多くなっている。9月の利用者が最も多く約1,050人である。



② 南ルート

月々の利用者数は4,000台で推移しており、前年度と比べていずれの月も増加している。9月の利用者が最も多く約5,000人である。令和元年度と比較すると、利用者数は8割前後である。



(4) 県営名古屋空港利用者数 (FDA、通勤定期運航) (参考)

前年と比較すると利用者数は大幅に増加している。10月の利用者数が最も多く約82,000人であり、令和元年度よりも僅かに多くなっている。

